

糖尿病患者 有意義な交流会

(藍住町、福永高治・70歳・主夫)

先日、徳島市内のひきめ年ぶりワースト」となったんトモニ「プラザで県糖尿病」ことが話された。勉強会で協会の交流会があった。県は川島病院歯科医師が「糖尿病における歯周病予防の意義」と題して講演。私が26団体ある。交流会には、糖尿病患者は健常者以上に歯のメンテナンスが必要とした友の会員が100人ほど参加し、糖尿病について研修を深めるとともに、所属している患者会以外の会員との意見交換で有意義な交流が図られた。

主催者のあいさつの中で、毎日朝刊で報じられた「糖尿病死亡率 徳島4

である」とが説かれた。次いで、県歯科医師会の歯科衛生士が「からだの健康はお口の健康から」と題して、歯周病から歯を守る」との大切さを話した。午後からは阿波踊り体操の一大切さを話した。午後からは阿波踊り体操を考案した徳大の先生の指導で、阿波踊り体操&スローヨギングに取り組んだ。管理栄養士がレシピの説明をした後に、グループ間余り、軽い運動をして心地よい汗を流した。